

人間を救うのは、人間だ。

「人のための思い」を
つなぎ、うごく。

ボランティアや寄付など
赤十字活動に協力くださる皆様の行動からは
「苦しんでいる人を救いたい」という
赤十字に寄せる強い思いが伝わってきます。

私たちは、その思いを365日
「人間のいのちと健康、尊厳を守る活動」に
つなげていきます。



日本赤十字社有功章等の受贈者の皆様

静岡県赤十字大会を開催しました

はじめに、静岡県支部長の「当支部が人道的活動を継続できるのは、日頃から活動資金の寄付やボランティア活動を通じてご協力いただいている関係各位のご理解とご支援のおかげです。」

「この大会を契機に私たちは、日本赤十字社の使命を改めて心に刻み、決意を新たに、災害救護など、なお一層の充実を図っていきます。」との式辞による感謝と決意の表明がありました。

その後、日頃から赤十字活動に協力してくださった方々への表彰、活動発表、記念講演を行いました。

日頃の協力への感謝を表彰というカタチに

出野副知事から代表受章者12名に贈呈いただきました。

赤十字事業において、長年の奉仕活動や寄付などの顕著な功勞のあった個人・法人・団体総勢152名の皆様に対し日本赤十字社有功章・社長感謝状、静岡県支部長表彰状等を贈呈しました。

受章された方々からは、「多くの仲間がいたから活動を続けられた」「これからは困っている人々を救う活動をしたい」との言葉が聞かれました。



地域や学校における特徴的な赤十字活動

赤十字の精神に基づき活動する2団体が日頃の実績を紹介しました。

佐久間赤十字奉仕団



高齢化率67%、近くに食料品店がない状況のなか、『買い物に困難な高齢者に、栄養バランスを考えた手作りのお弁当を届ける活動』について発表しました。

昨年は3回、延べ約60食を無料で配付し、受け取った方からは「季節感があって良い」などの好評を得ています。

「困っている人を助ける」という思いを胸に、研修を重ね、自治会等と協力し、この活動を増やしていきたいです」と語ってくれました。



青少年赤十字(JRC)加盟校 島田商業高等学校



商業高校の特性を活かしたJRCの探究活動の一つとして商品販売による復興支援について発表しました。

竜巻被害にあった牧之原市の醤油製造業者が、営業再開ができないことを知り、その商品を文化祭で販売するなど、『社会貢献に重きを置いたソーシャルマーケティングの手法を取り入れた復興支援活動』に取り組みました。

「これからも、自分たちにできることを気づき・考え・実行していきたい」と張り切っていました。



一緒に活動しませんか?

「人のための思い」をつなぐ活動の場があります!

赤十字奉仕団は、「人道的な活動を身近な社会の中で実践しよう」とする人々によって結成されたボランティア組織です。地域ごとに組織された「地域赤十字奉仕団」、若い世代が中心となる「青年奉仕団」、専門技術を生かして奉仕活動を行う「特殊奉仕団」などがそれぞれの持ち味を活かした奉仕活動を展開しています。

PickUp!

点訳赤十字奉仕団をご紹介します

点訳講習会を受講した主婦や会社員など12名で組織しています。カレンダーやゴミ収集表、土日・休日当番医表、赤十字の広報紙等を点訳するほか一般の方に点字を普及する活動も行っています。

点訳の体験に訪れた高校生は、点字の彙を参考に、自分の名刺を作成しました。「文字に対応する点字を覚えないと打てないので難しかった」「体験で福祉にも興味を持ったので目が不自由な方の力になれば」と思いを語ってくれました。



〈点訳する佐藤委員長〉

赤十字の 特殊奉仕団

- 無線赤十字奉仕団
- 点訳赤十字奉仕団
- 青少年赤十字賛助奉仕団
- 赤十字安全奉仕団
- 赤十字看護奉仕団
- 芸能赤十字奉仕団
- 赤十字水上安全奉仕団
- 柔道整復師赤十字奉仕団

詳細 /



これからの日本赤十字社が目指すもの

「2027年の日赤創立150周年に向けて」と題し講演しました。

「日赤が様々な未曾有の人道リスクや社会問題に立ち向かうためには、ボランティアに浸透する赤十字の理念や各地で主体的に活動するボランティアの行動力が強みとなります。それには、



〈講演する田中氏〉

- 1 赤十字の講習や研修で学んだ知識・態度を率先して「行動につなぐ」こと
- 2 奉仕団の活動で培った地域の絆を「自助・共助につなぐ」こと
- 3 ボランティアや青少年赤十字活動に発揮している思いやりの心を「人道につなぐ」こと

が必要です。スローガンにすれば、『人間をつなぐのは、人間だ』と、業務執行理事の田中康夫氏が“つなぐ”をキーワードにボランティアに向けてメッセージを発信してくれました。

「苦しんでいる人を救いたい」との思いを持つ皆様が、「つなぐ」を合言葉にさらなる一歩を踏み出せるよう皆様との連携を一層密に、活動を支援して参ります。

第12回 青少年赤十字100文字作文コンクール実施

このコンクールは、青少年赤十字加盟校(園)の子どもたちが、日々の生活の中で心が温まったエピソードなどを振り返り、自分の感じたことや考えを表現することで、やさしさと思いやりの心を育むことを目的としています。

今年度、支部長賞に選ばれた3作品をご紹介します!

入賞作品は、支部のホームページに掲載予定ですのでぜひご覧ください。



うまれたとき

ろくがつじゅうろくにちにもうとがうまれたよ。

あたまをよよししたら、このこがわたしのいもうとなんだよっておもったよ。

これからいもうとのいのちをたいせつにしたいってきもちがしたよ。

島田市立島田第四小学校 1年 岩倉 楓

人ごみの中の募金箱

この前東京へ行った。多くの観光客が行き交う場所にその募金箱があった。アフリカの子供たちに向けてのものだ。百円玉をとり出す。

「あれ、入らない。」それは、人々の優しさでいっぱいだった。私は別の募金箱をいっぱいにしよう。

沼津市立第二中学校 3年 伊藤 愛莉

笑えない戦争

私は、敵を倒す高揚感が得られるから、戦争ゲームが好きだった。

一年前、本物の戦争が始まった。遺体にすぎりついて泣く遺族や親を失った子供の映像が連日メディアで報道された。

私は、大好きだった戦争ゲームをアンインストールした。

浜松大平台高等学校 3年 横井 心

支部のこと、もっと知ってほしい! 公式X(旧Twitter)フォローお願いします。



X(旧Twitter)では、ボランティア、青少年赤十字、講習、救護活動など支部の活動をつぶやいています。

PRESENT!

「ハートラちゃんバインダー」を40名様にプレゼント!

以下を明記の上、WEB・メール・郵送でご応募ください。

- ①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③年齢 ④赤十字しずおかVol.134のご意見・ご感想
⑤赤十字しずおかで、今後取り上げてほしい情報

※回覧でご覧いただいた方には、本号を郵送します。ご希望の方は①②を明記の上、「Vol.134希望」とお書きください。なお、プレゼントのご応募と同時に申し込みいただく場合は、①～⑤を明記の上、応募締切日必着をお願いします。

応募方法

WEB



メール



koho@shizuoka.jrc.or.jp

郵送

〒420-0853
静岡市葵区追手町44-17
日本赤十字社静岡県支部
組織振興課

応募締切

令和6年2月29日(木)必着

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



A4
サイズ

※収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の個人情報保護規程に則り取り扱います。



日本赤十字社

静岡県支部

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-17
TEL 054-252-8131 <https://www.jrc.or.jp/chapter/shizuoka/>



この印刷物は、みなさまからいただいた資金で作っています。